

関係代名詞で話す・書く (基礎)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：型を借りて、友だち・たからものを「I文で厚く」説明できる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出してI回読もう)

I have a friend who runs faster than anyone else in our class.

クラスのだれよりも速く走る友だちがいる。

The thing I always carry in my bag is a small mirror.

いつもかばんに入れている物は、小さな鏡だ。

型で書く 型で書く— _____ だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): makes everyone laugh / can cook very well / never gives up (2): use / look at / listen to + my phone / a photo of my dog (3): can do my homework / clean my room / talk with my cat)。気づき: (2)の型に関係代名詞は見えませんが「名詞+S+V」と並べただけで「わたしが毎日 _____ する物」が作れます。これが会話でいちばんふつうの形です。

(1) I have a friend who _____. 友だちのすごいところ

(2) The thing I _____ every day is _____. 毎日つかう・見る・聞く物

(3) I want a robot which can _____. ゆめのロボット

ペアで話す ペアで話す—Guess Who クイズ

答え方の型: It's ____! / Is it a person who ____? 出題の型: I'm thinking of a person in this class who _____. ヒントはI文ずつ、3文まで。クラスの人を答えにするとき、いいところだけをヒントにすること。

(1) I'm thinking of a person in this class who _____. Who is it?

クラスの人あてクイズ—ヒントをI文ずつ出す

(2) I'm thinking of a thing which _____. What is it?

物あてクイズでもOK

あいづち・返しの型: I know! One more hint, please. That's too easy!

関係代名詞で話す・書く (基礎) | 自分の番

年組番号名前

書く

3文つなげて「わたしの大切な人・物」

思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで自己紹介の1段落になる。最後に、ペアの相手から聞いたことを1文で紹介: He / She has a friend who _____.

評価

先生はここを見ます (加点式)

型のとおり3文書けている (who / which の直後に動詞・「名詞+S+V」の順)	+5点
____に自分のことが入っている	+3点
ペアの相手の紹介が1文ある	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ